

2017年4月

地域自然情報研究会

都市近郊の海岸砂丘における 生態系サービスを活かした酒造りとその経済効果

金子 是久 氏 (北総生き物研究会)

海岸砂丘は、海と陸との間の緩衝帯であり、地下10m前後にある淡水層は、海岸砂丘にある多くの酒蔵が酒造りの仕込み水に使用し、生態系（文化的）サービスとしての役割を果たしている（金子他2012, Kaneko et al. 2013）。調査地の千葉県は、首都東京の東隣に位置し、三方を海に囲まれ、沿岸域には現在も酒蔵が存在している。しかし、大正時代には、沿岸域にて60近い酒蔵があり（鈴木1997）、現在の約6倍の数であった。そして、この時代は、沿岸開発やインフラ整備が進行していなかったため、自然の海岸砂丘の恵みを活かした酒造りが行われ、近隣の人々により購入されていたと考えられる。しかし、その後、酒蔵の数は大きく減少し、東京湾側では、ほとんど消滅した。

今回の講演では、海岸砂丘に位置する酒蔵とその周辺環境の変化、過去の酒蔵の売上高を調べることで、海岸砂丘の生態系サービスを活かした酒造りとその経済効果、酒蔵の衰退要因について紹介する。

開催日時

2017年4月8日(土) 15:00~17:00

参加費

500円(ただし、GCN会員は無料)

お申し込み・お問い合わせ

当NPOのホームページ(下記)よりお申し込み下さい。

<http://www.geo-eco.net/>

NPO法人 地域自然情報ネットワーク 事務局
(gcnken@gmail.com 担当:梶並)

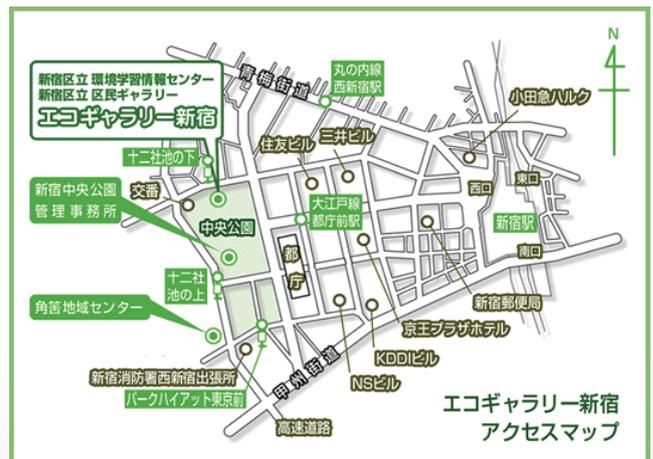
地域自然情報研究会とは?

当NPOにて2006年から、概ね月1回のペースで開催している研究会で、地生態学・景観生態学などにかかわる調査や研究、GIS情報整備や公開にかかわることなど、幅広い分野の方から話題を提供いただいています。意見や質問が飛び交う中から、新たな発想が生まれる場とするために、分野に限らず、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

なお本研究会では、皆様の話題提供も、随時、受け付けています。ご興味のある方は是非ともご連絡下さい。

会場案内

新宿区環境情報学習センター 2F 研修室
(エコギャラリー新宿)



GCN NPO法人
地域自然情報ネットワーク
The Geoeological Conservation Network

NPO法人地域自然情報ネットワーク (GCN) は
地生態学の視点から自然環境の保全を提案します

なお、GCNにつきましては、当会ホームページをご覧ください。

<http://www.geo-eco.net/index.html>

